

民間教育団体がスクラム

子どももの学び 実現へ組織設立



さまざまな民間教育事業に関わる関係者がそれぞれの業界の壁を越えて、意見交換、交流する場をつくらう

と、民間教育団体連絡協議会が10月26日、設立された。公益社団法人全国学習塾協会の呼び掛けに、約1年間の

正会員5団体が壇上に。安藤幹事長(右端)が紹介

協議を経て、一般社団法人全国外国語教育振興協会、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、一般社団法人日本スイミングクラブ協会、民間語学教育事業者協議会が正式に参加した。

未来を担う子どもが生き抜いていく力を育むため「それぞれの民間教育関係者が大人の事情を乗り越えて、貢献していく民間教育のプラットフォーム」づくりが狙いと、同協議会幹事長となった全国学習塾協会の安藤大作会長は話す。

教育への保護者の考え方の変化から、得意分野でのスキルを身に付けることを求めるニーズも生まれていることを踏まえ、今後、民間教育の役割が増すことも視野に入れる。

設立総会後の設立パーティーに出席した下村博文・元文科相はあいさつの中で、フランスでの柔道人口が日本よりも多い背景に、授業で民間の道場の指導者から教わる環境があることを例に挙げ「全てを公教育で自己実現できる時代ではない」と、民間教育を含めた「オールジャパンでの教育」の必要性を指摘した。

安藤幹事長は「あくまで中心にいるのは子ども。家庭や学校など、子どもに関わる全ての関係者が手を取り合っ